

I 基本的な考え方

- ・ 計画の位置付け 総合計画における部門計画としてDXを推進
- ・ 計画期間 2023（令和5）年度～2026（令和8）年度の4年間

II 本県の目指す姿

- ・ 本県が取り組むべきDXは、課題の解決に向けて、それぞれの実情やニーズに合わせて普段使いできるサービスをオーダーメイドで提供する「地域内発型DX」
- ・ 地域内発型DXによって、県内企業の大半を占める中小企業が業務効率化やサービス創出を実現できれば、地域経済に絶大なインパクトをもたらすことができるものと期待
- ・ この考え方に沿って、産業分野におけるDXをはじめとして、暮らしや行政など社会全体のDXを加速し、「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を目指す

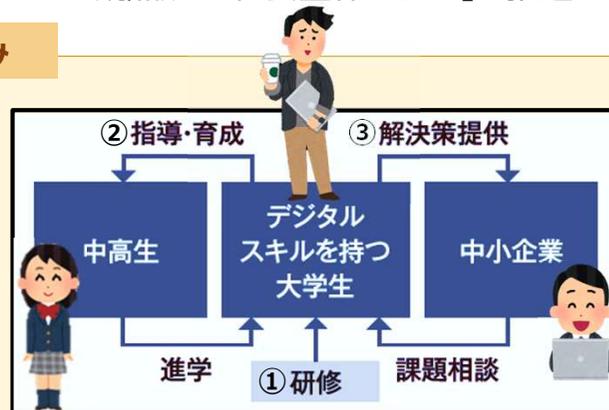
III 取組方針

- ・ 地域内発型DXを進めるためには、本県の地域課題を的確に理解し、デジタル技術を用いて課題解決に導くことができる「DX人材の確保」が不可欠
- ・ 本県独自の取り組みとして、県内におけるDX人材の安定的な育成と供給を実現するため「DX人材育成エコシステム」を構築
- ・ デジタル技術を持った若者が県内で継続的に育ち、地域課題の解決に参画することを通じて、豊かさを実感できる生活と地域経済の活性化の両立を図る
- ・ 県民誰もがデジタル技術を日々の生活や仕事に活用できるようリテラシーの向上を図る
- ・ 人材育成をはじめ、産業、暮らし、行政の4つの観点から「社会全体のDX」を推進

「DX人材育成エコシステム」の仕組み

次のサイクルでDX人材を循環的に育成

- ① 大学生が、研修等を通じてデジタルスキルを習得
- ② 大学生が中心となって、中高生へのDX指導・育成を実施
- ③ 商工会等と協力し、中小企業のデジタル課題の解決を行う



IV 具体的な取り組み

1. 人材の育成

- ・ DX人材育成エコシステムの構築
- ・ 全ての県民のデジタル・リテラシーの向上
- ・ 産業を支える人材の育成・確保
- ・ ICT教育の推進 など

2. 産業のDX

- ・ ものづくりなどの生産性向上
- ・ 最先端技術・産業の集積
- ・ 「高付加価値型の観光産業」への進化の促進
- ・ データ農業・スマート農業の推進
- ・ スマート林業の推進 など

3. 暮らしのDX

- ・ 子育て世帯等への支援
- ・ 働き方改革の促進
- ・ 「デジタル医療立県やまなし」の促進
- ・ データを活用した健康・医療・福祉
- ・ 防災情報・災害発生情報の充実・高度化
- ・ デジタル格差対策 など

4. 行政のDX

- ・ 生成AIやローコードツールの活用などによるサービス向上・業務効率化
- ・ デジタル原則に基づく条例等の規制の点検・見直し
- ・ 行政手続のオンライン化
- ・ オープンデータの推進 など

社会全体のDXの推進